

研究課題番号	4-1706
研究課題名	地上・リモートセンシングによる尾瀬ヶ原湿原におけるシカ個体数推定手法の開発
研究実施期間	平成29年度～令和元年度
累計予算額	90,693 千円
研究機関名	東京大学
研究代表者名	沖 一雄

1. 評価者の指摘及び提言概要

複数マイクロフォンによるシカの生息場所と生息数を評価する手法が計画通り開発できたこと、GPS 首輪に装着されたカメラから得られた動画からシカの生態や行動に関する詳しい情報が得られたことなど、本課題は興味深い成果を生み出したと評価する。ドローンによる空撮法はきわめて有望である。今回開発された手法は、尾瀬ヶ原や釧路湿原のような条件に合った、かつ保全上等の理由で知見の集積がぜひとも必要な場所では、有効であることが示唆された。一方、音声による個体数推定には、基本的な問題点があり、別法、例えばこの研究で行われている自動カメラによる推定の方が信頼性も頑健性も高い。

2. 評点

総合評点：A